



2021年10月1日発行  
1947年10月27日  
第3種郵便物認可  
発行所/日本YMCA同盟  
東京都新宿区本郷町2-11  
THE YMCA 神戸版  
神戸YMCA  
〒650-0001  
神戸市中央区加納町2-7-11  
Tel 078-241-7201  
Fax 078-241-7479  
www.kobeymca.org  
発行人/井上 真二  
編集人/松森正樹  
印刷/有わかばやし印刷

## 年間聖句 「光あれ。」 創世記 1章3節

2021年度も、ポジティブネットYMCA国際協力募金を全国のYMCAで秋から展開いたします。募金への取り組みを始めるにあたり、神戸キリスト教青年会(神戸YMCA)の常議員・国際委員である中尾秀一さんに、YMCA国際協力募金の意義についてお話を伺いました。

### なぜ国際協力が必要なのか

日本にもたくさん困っている人がいるのに、なぜ外国の人に募金しなければならないのか、という声を聴くことがあります。確かに国内の貧困も私たちの大きな課題ですが、世界の貧困は深刻で、私たちにもできることがあります。

世界人口の1割以上、8億1000万人の人々が十分な食料を得ることができていません。また、約5900万人の子どもが小学校に通っておらず、12人に1人の子どもが学校へ通っていないこととなります。これほど深刻な世界の貧困にはさまざまな理由が考えられますが、その一つが大きな経済格差です。経済的に恵まれている世界の上位10%の人々が世界の富の80%を独占しており、この文章を読んでおられる方のほとんどがその10%に含まれています。つまり、私たちの経済的に豊かな生活が、途上国の貧困の一因となっているのです。

一方で、私たちの生活は世界中の国々に支えられています。エネルギーや食料だけでなく、衣類や電気機器など、海外からの原材料や製品がなければ、私たちの生活は成り立ちません。新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によって、世界と私たちがつながっていることを強く実感させられることになりましたが、自分たちさえ良ければ、という考え方はますます通用しない世界になっています。

### なぜYMCAが国際協力をするのか

YMCAの国際協力は、世界120の国や地域にあるYMCAのネットワークを活かして、コミュニティ支援、教育支援、難民支援、災害支援などを行っています。

YMCAの使命を内外に表明するために策定された日本YMCA基本原則には「私たちは、アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に平和の実現に努めます」とあります。植民地支配、侵略戦争といった過去の負の歴史に向き合うのと同時に、現在、未来においてYMCAだけでなく広く「世界の人々と共に」協働していくことが表明されています。実際に、YMCAは社会教育の分野でこ

子どもが、未来を創る。  
ポジティブネットYMCA国際協力募金キックオフ!

れまで積み上げてきたノウハウを生かしつつ、必要に応じて専門分野の協力団体や協力者と共に活動しています。「平和の実現」とは単に戦争がない状態ではなく、貧困や飢餓、差別などで苦しむ人がいない世界を創ることなのです。

### YMCAの国際協力募金とは

YMCA国際協力募金には、2020年度は全国で3514万2326円が皆さまから寄せられ、各YMCAで、またYMCA同盟を通じて、それぞれの活動に用いられています。

YMCAの募金運動は、お金を集めるだけではなく、どのような課題が世界にはあるのか、なぜその課題が解決しないのか、私たちの暮らしにいかにつながっているのか、そして、私たちにできることは何かを考える機会にもなっています。私たちが日常の中で、買い物をしたり、外出をしたり、水道の蛇口をひねる時に、会ったことがない世界の人々のために、また未来の世代のために何が正しいのかを考えることが国際協力になるからです。

あなたもYMCA国際協力募金に参加してみませんか。

神戸キリスト教青年会(神戸YMCA)

常議員・国際委員 中尾秀一さん





## すべての「いのち」が 光り輝くように

世界120の国と地域に広がるYMCAのネットワークを活かして、すべての人々が国、民族、宗教の違いを超え、平和にいきいきと暮らすことができる社会をつくりだすために国際協力、地域奉仕活動を行っています。



### 第29回タイワークキャンプ

(水野宏明さん撮影)

タイ・チェンマイYMCA協働のもと、必要とされるものを各村に届けています。ものを届けるだけでなく、村の人びとの交流も大切にしています。この日は子どもたちとタイ語の授業です。まずは「ヌン・ソーン…」と数字から。



### 街頭募金活動

神戸YMCAの会員、ワイズメンズクラブ国際協会、関係団体の方々とともに街頭に立ち、募金協力を呼び掛けています。



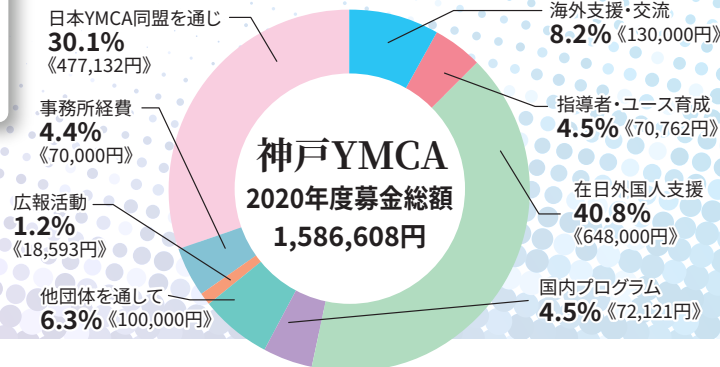
### パレスチナ オリーブ木キャンペーン

(日本YMCA撮影)

日本YMCAは東エルサレムYMCAとパレスチナYWCAが行っている、オリーブ植樹プログラム「オリーブの木キャンペーン」を支援しています。神戸YMCAは世界の人々と連帯しパレスチナの平和を願ってこの植樹プログラムを応援しています。

### YMCA国際協力募金の使途

さまざまな活動に皆さまの募金が役立っています。



### 地域のこども園との協力

YMCA国際協力基金に園児の皆さんと取り組んでくださっているこども園があります。国内外で困難を強いられている人たちのことを思い、ともに祈ります。一人ひとりが繋がりが大きな力となります。



経済的・金銭的な理由から修学が困難な留学生に対する奨学金制度を創設し、神戸YMCA学院専門学校で学ぶ外国人留学生のために用いられています。

## 日本語を学ぶ私費外国人留学生への支援 『神戸YMCA国際奨学金』

神戸YMCA学院専門学校日本語学科 キン・ピョ・ウェさん(ミャンマー)

私は2020年度後半に神戸YMCA国際奨学金を頂きました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、国の両親の収入が減り、私は生活費に困っていました。アルバイトをしながら勉強をしていますが、進学の準備もあり、もっと勉強に集中しなければなりません。神戸YMCA国際奨学金を頂き、大変助かりました。この奨学金のおかげで、私はアルバイトの時間を減らし、日本語の勉強に十分な時間を確保できました。私も私の両親もとても安心しました。学校での日本語勉強はとても面白くて、私は大好きです。生活費の心配がなくなり、毎日の勉強を楽しむことができました。

私は神戸YMCA学院専門学校日本語学科を卒業したら、日本の大学へ行く予定です。教育関係、もしくは心理学関係の勉強をしたいです。大学を出たら、日本で就職し、大学で学んだ知識を日本社会に還元したいです。皆さまのご支援のおかげで安心して勉強ができたので、自分の夢をかなえるため、必ず一層努力して勉強します。ご支援くださった皆さま、ありがとうございました！



YMCAが行なう活動に用いられるだけでなく、他の民間団体を通じても必要とされる人々のために用いられます。

## YMCA以外の民間団体を通しての支援 『定住外国人子ども奨学金』

定住外国人子ども奨学金実行委員会事務局 志岐 良子さん

定住外国人子ども奨学金は、高校在籍時に兵庫県内に居住する、日本国籍を有していない人または保護者の一方が日本国籍を有していない人を対象とした給付制奨学金です。外国ルーツの生徒の高校進学率が日本人に比べて低いことや中退率が高いことから、高校進学・卒業して“あたりまえに夢をかなえられるように”という思いで、活動しています。1学年3名、3学年で9名(定時制は4年生まで支給)に月額15,000円を給付しています。

これまで、中国、ベトナム、フィリピン、ペルー、韓国、ブラジル、アルゼンチン、コロンビア、メキシコルーツの高校生が奨学生となり、みな無事卒業し、次のステップに向けて進むことができました。私たちが大切にしているのは、ただ奨学金を給付するだけでなく、奨学生と対話することを通じて、3年間の高校生活を見守り、卒業できるように手助けすること、卒業後にさらなる飛躍ができるように高校時代に必要な応援をすることです。

毎年、チャリティコンサートやイベント出展などでの収益を奨学金原資としておりますが、コロナ禍で思うように奨学金の原資を集めることが難しい状況になっています。

神戸YMCAからは、毎年奨学生1人分のご寄附を頂いており、非常に感謝しております。この場を借りて、関係者の皆さま、YMCA国際協力募金にご協力してくださっている皆さまにお礼申し上げます。

### ※定住外国人子ども奨学金実行委員会とは

外国にルーツをもつ子どもを対象とした独自の奨学金「定住外国人子ども奨学金」を通じ、彼ら彼女らに高校進学チャンスを作り、将来の夢を描けるようにしたいと願い活動を行っています。



## YMCAの募金活動

YMCAの募金活動は、募金を呼びかける参加者自身が世界のさまざまな問題を身近な課題として考えることも目的としています。日常の活動の中でも世界の課題に思いをはせることを大切にしています。

### 募金活動を通して応援メッセージを発信する

#### ファミリーウエルネスセンター

昨年度の国際協力募金は、新型コロナウイルス感染拡大の中での実施ということもあり、例年とは少し違ったものとなりました。これまで施設内で行っていた募金活動が一部できなくなったため、InstagramやFacebookなどのSNSなどを使い、募金を募るだけでなく世界の人々へ応援メッセージを送る取り組みを行いました。メンバーへ直接伝える機会は減りましたが、施設外にわたってより広く伝えることができました。

現在、コロナ禍によって身近な人と接したり人と出会う機会が減る中で、目には見えなかったり遠くにいたりする人たちのことを思うことが、ますます重要になってくると思います。私たちが募金を贈る対象は、日本から遠く離れた世界の困っている人たちや、まだこの世界に生を受けていない未来を生きる子どもたちです。目の前にいる人が対象ではありませんが、だからこそ、そこに世界の人たちと「つながる」可能性が見えます。



### 募金の取り組みから育まれる心

#### YMCAの保育園(認定こども園)

YMCAの保育園では、毎年、秋に「国際デー」を行い外国の方をお招きしています。その国の言葉を教えてもらったり、その国の伝統的な遊びを一緒に楽しんだり、ふれあいながら、自分たちの知らない世界があることを体験を通して学びます。



2020年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実際に外国の方をお招きしての交流ができませんでしたが、シアトルYMCAのボランティアであるジョシュアさんとZoomでの交流ができました。画面の向こうではジョシュアさんのお子さんたちも登場し、園児たちとのあいさつもでき、歌遊びを楽しむこともできました。「はなれていてもつながっている」ということを子どもたちと共に感じるひとときでした。

そして11月の「合同祈禱週」では、全世界のYWCA/YMCAに連なる人々が、一つのテーマのもと、共に祈りの機会を持ちます。保育園の各クラスでも、一日一日の祈りの課題を決めて取り組みます。自分以外の人々のための祈りを通して、遠く離れた人たちのことを思いやる心を育みます。

こうして、国際協力募金運動が始まります。それぞれのご家庭から寄せられた募金は「必要とする方のために!」との願いと祈りをもって、クリスマス礼拝で献金として全園児で捧げます。

### 募金の方法

#### ◆YMCAの窓口で募金

お近くのYMCAの受付までお持ちください。

#### ◆お振込み・クレジットで募金

郵便振替や銀行振込、クレジットで受けています。こちらのQRコードからWebサイトにてご確認ください。



## R...E...P...O...R...T

### あかしこども広場

### 子育て支援

あかしこども広場では、子育て支援講座と称し、妊産婦の方を対象とした講座から、小学生向けのデイキャンプまで幅広い内容の講座を用意し子育て支援に取り組んでいます。

8月は、小学生にとっても夏休みに当たるため、小学生を対象とした多数の講座を実施しました。3日間連続開催のサマースクールでは、明石市の小学生15名が参加し、夏休みの宿題をはじめ工作教室、水遊びや、認知症をテーマにしたワークショップ等、さまざまなプログラムを体験しました。また、サマースクール最終日に

はジェノバラインに乗船し淡路島への小旅行にも出掛けました。車社会の昨今、海に面した明石市であっても船に乗る事は少ないようで、みな興奮した様子で窓から見える景色を眺めていました。コロナ禍もありいろいろな制限がある中での開催となりましたが、子どもたちにとって夏休みの貴重な思い出になったようです。

明石市をはじめ兵庫県下においても未だ収束の兆しが見えないwithコロナの日々が続きますが、今後も多くの明石市民の方にYMCAプログラムを届けられるよう運営していきます。



## 灯台

Light House

No.33

総主事 井上 真二



#### 「世界食料デー」

1945年10月16日に国連食糧農業機関(FAO)が創設されたことを記念し、毎年10月16日は世界の食料問題を考える日として、国連により1981年から「世界食料デー」として定められています。これは飢餓に苦しむ人々、全ての人々に健康的な食事を確保する必要性について、世界的な意識喚起と行動を促す記念日であり、世界に広がる栄養不良、飢餓、貧困を解決していくことを目的としたものです。

食の視点からSDGsを考えると「つくる責任 つかう責任」という目標があります。日本の食料自給率の低さについては以前から指摘されていますが、海外

依存度の低減だけではなく安心で安定的な食品供給の重要性が言われる中、フードテック(フード×テクノロジー)による食の可能性の拡大に様々な企業が取り組んでいます。最近よく目にするのは大豆を原料にした大豆ミートなどの代替肉やタンパク源としての昆虫食があります。自宅で食事をする時間が増えたこと、自然災害への備え、食の安全や健康志向が食文化の広がりへとつながっているとも言えます。日本の食品の中には世界においてジャパニーズスーパーフードと呼ばれる発酵食や伝統自然食品等が数多くありますし、蜂の子やイナゴの佃煮は限られた地域に郷土食として伝わり、貴重なたんぱく源として日本各地で食されていたと聞きます。

先人の優れた知恵は現代にも引き継がれていることも覚えながら、未来を見つめ、「食」のことを共に考えたいと思います。

12 つくる責任  
つかう責任





## キャンプ連載「私たちはどこから来て、どこへ行くのか？」

### <キャンプは人々の力を奪っている?>

キャンプディレクター  
阪田 晃一

「この余島で困ったらみんなどうしますか？ご飯がない。お腹がすいた。どうしよう？」。そのキャンプには子どもだけでなく大人も参加していました。みんなすぐにこう答えます。「YMCAのスタッフに頼む！」。そこで次の条件を加えます。「YMCAのスタッフは暑いのでもう帰ってしまった。この無人島にはみんなだけ。お腹が空いたらどうする？」ある子どもが手を挙げて言います。「僕は我慢する！」「ずっと我慢していたら死んでしまうよ、はい、他の人は？」「はい！僕は虫を取って食べる！」「なるほど、君は生き残れるかもしれない。では質問を変えます。どうやら自分は病気がらしい。病気になってしまった。さてどうしよう？」「YMCAのスタッフに助けを求めよう！」「なるほど。でもYMCAスタッフは暑くて居なくなってしまったんだ。どうする？」「はい！（先程と同じ子どもが）我慢する！」「えー！（みんな笑う）」「おいおい、死んでしまうかもしれないぞ！はい、他の人は？」「はい。僕は部屋の人に相談してみる」「お、これは違う意見だね。君は助かるかもしれないよ」

さて、複雑な近代社会に生きる私たちは、「人」よりも「システム」に頼っています。先程の問答はこの夏開催した「いちえんキャンプ」での一コマです。キャンパーは最後まで「人」に頼る選択をし

ませんでした。人は「システム」に頼ることでその力を失い、その結果人に頼ることもできなくなってしまったのです。

そこで私の問いは「キャンプはそもそも人々のシステム依存を加速させ、その力を奪ってきたのではないか？」というものです。私たちは市場と行政に頼って生きています。参加費を払って体験を得るキャンプもまた、システムです。複雑な社会に生きる私たちにとってそれは当然のことです。いちえんキャンプは、参加費が一円なので、対価交換システムという感覚を狂わせます。また紹介者を通じたエントリー制度は、システムではなく人に頼ることを予感させます。

キャンプ中の体験デザインは多くの場合、人の「力」を回復するためになされているはずですが、しかしここに矛盾を見出すことができます。キャンプに参加するためのシステムを整備すればするほど、人々のシステム依存の度合いが高まり、キャンプで求めていることと逆の現状を引き起こしているのです。

したがってキャンプに参加するためのシステムを再考するのも、システム依存したシステムを再設計するのもまた体験デザインの対象です。あらゆる事柄に開かれる構えこそ、閉塞感を打ち破る唯一の「力」なのです。

## 高雄YMCA・神戸YMCA交流会を行いました！

高雄YMCAは神戸YMCAとパートナー関係であり、さまざまな交流活動を続けてきました。昨年度より新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、互いの交流がしばらく叶いませんでした。高雄YMCAの提案で、7月にオンライン交流会を開き、プレゼント交換をし、パートナーシップを深めるいい機会となりました。

神戸YMCAより、YMCAマスク・YMCAファイル・ポスター・水中マスクをプレゼントし、高雄YMCAよりYMCAマスク(大人用・子ども用)・YMCAタオル・YMCAバッグを頂きました。高雄YMCAは早速プレゼントを各部門のスタッフへの配布を行いました。「コロナが終わったら、ぜひ神戸YMCAを訪問したい！」とスタッフの皆さまも大喜びでした。



高雄YMCAの皆さま

## 神戸YMCAの使命 (日本YMCA基本原則)

- イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学びます。
- すべての人びとの全人的な成長を願い、いのちを守り育てます。
- 人権を守り、喜びと痛みを分かちあう社会をめざします。
- 世界の人びとと共に、平和の実現に努めます。

## 神戸YMCAの願い (日本YMCA中期計画2020)

すべての「いのち」が光り輝くように、これを守り育てます。そのための活動に世代を超えた市民の参加を求め、その活動を通して新しいコミュニティを創造します。

ファミリーウエルネスセンター ☎078(241)7202  
ランゲージセンター ☎078(241)7204  
専門学校 ☎078(241)7203  
西宮YMCA ☎0798(35)5987  
余島野外活動センター ☎0879(62)2241  
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局) ☎078(241)7216  
国際・奉仕センター ☎078(241)7204  
ウエルネスセンター学園都市 ☎078(793)7401  
西神戸YMCA ☎078(793)7402  
神戸YMCA高等学院 ☎078(793)7435  
YMCAおひさま ☎078(793)9077

西神南YMCA ☎078(993)1560  
須磨YMCA ☎078(734)0183  
YMCA保育園 ☎078(794)3901  
西宮YMCA保育園 ☎0798(35)5992  
西神戸YMCA保育園 ☎078(792)1011  
神戸学園都市YMCA子ども園 ☎078(791)2955  
神戸YMCAちとせ幼稚園 ☎078(732)3542  
YMCAちとせ保育ルーム ☎078(786)3821  
西神戸YMCA幼稚園 ☎078(997)7705  
西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798(26)1016  
あかし子ども広場 ☎078(918)6355  
学園都市YMCA保育ルーム ☎078(794)3045

☎078(993)1560  
☎078(734)0183  
☎078(794)3901  
☎0798(35)5992  
☎078(792)1011  
☎078(791)2955  
☎078(732)3542  
☎078(786)3821  
☎078(997)7705  
☎0798(26)1016  
☎078(918)6355  
☎078(794)3045



## 感謝・寄附

(敬称略、順不同)(前号掲載以降~8/20現在)

### 寄附

家山 華子、中山 豊美、森崎 真奈美、星野 昌枝、平井 大介、木村 伊知郎、井澤 悠樹、岡田 佑一郎、松縄 留美、早駒運輸株式会社、神戸YMCAベルクワイアー(阿部 望)、神戸ポートワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、神戸西ワイズメンズクラブ、神戸メネットクラブ

### ポジティブネット募金

芦屋ワイズメンズクラブ

### 学生生活支援募金

山本 常雄、荻野 伸子、小田 浩

### 国際協力募金

社会福祉法人頌栄会 西鈴蘭台頌栄保育園、TAN SIEW LIAN ESTER、神戸ポートワイズメンズクラブ

この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。感謝をもってご報告します。

## 第23回 神戸YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2021

ここで集まった支援金で、「障がいのあることもたちが、YMCAの夏のキャンプに参加できるように！」との願いから始められました。ぜひ、皆さまの力を!!ご支援をお願い致します。秋の一日、のんびりとウォーキングをしながら、障がいのあることものに思いを寄せる日にしませんか。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を施して実施いたします。

**日時** 2021年11月23日(火・祝)

**会場** しあわせの村  
(運動広場およびジョギングコース)

- 皆さまの参加費が支援金となります。
- 主旨にご賛同いただき、ご協賛いただける企業様、個人様も募集しています。
- 参加者にはお楽しみスピードくじ

詳細が決まり次第、ホームページにてお知らせします。

神戸YMCA  検索

「募集・予告」をご覧ください。

※なお、状況により内容など変更される場合もございますので、予めご了承ください。